

令和7年度 第3回 北陸地方整備局新技術活用評価会議 を開催します

～公共事業等の新たな技術の活用と普及にむけて～

北陸地方整備局では、公共工事等への有用な新技術の活用促進を図ることを目的として、「令和7年度 第3回北陸地方整備局新技術活用評価会議」を開催します。

なお、審議する案件は下記に示す事後評価2件並びに有用な技術の選定となります。

1. 開催日時 令和8年2月20日（金） 14：30～16：30

2. 開催場所 北陸地方整備局 4階 共用会議室

3. 議 題 (1) 事後評価（審議）

1) Zスリット型堰堤工法 KT-190075

2) 遠隔地蓄電池残量監視システム CB-220016

(2) 活用促進技術の指定（審議）

1) Zスリット型堰堤工法 KT-190075

2) 遠隔地蓄電池残量監視システム CB-220016

※ 技術について詳しくは、NETISホームページをご覧ください。

(NETIS HP : <https://www.netis.mlit.go.jp/netis/>)

4. 留意事項 ①報道関係者は、腕章又はネームプレート等（報道関係者と判断できるもの）の着用を必ずお願いします。

②取材・撮影は評価会議冒頭の「座長挨拶」までとし、審議中の取材・撮影はご遠慮願います。

5. その他 評価会議における評価結果および活用促進技術の指定の結果は、会議後必要な手続きを経て、後日上記HPに公表します。

【同時発表記者クラブ】

新潟、富山、石川県内

その他・専門紙



問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局

TEL：025-280-8880（代表）

企画部 施工企画課長 姫野 利宗（内線 3451）

■ 令和7年度第3回新技術評価会議 審議技術一覧表

No.	区分	技術名称	開発年	登録年度	登録番号	分類	申請従来技術	技術概要	説明写真	開発会社 (会社所在地)	前回評価結果	今回評価結果
											評価種別 評価年度 活用効果調査件数	評価種別 評価年度 活用効果調査件数
1	事後評価	Zスリット型堰堤工法	2018	2019	KT-190075-A	砂防工 - 水路工	鋼管骨組構造形式による透過型堰堤	本工法は、鋼管を素のままに活用した直立鋼管柱と底版コンクリートとからなる鋼製透過型堰堤。従来は鋼管骨組構造形式による透過型堰堤で対応していた。本工法の活用により、鋼材加工度を大幅に減らせるため、工期短縮と経済性向上が図れる。		株式会社共生 技術開発部 (〒160-0022 東京都新宿区新宿1-23-1 THE PORTAL 新宿御苑)	—	第3回事後評価 令和7年度 活用効果調査件数 5件
2	事後評価	遠隔地蓄電池残量監視システム	2020	2022	CB-220016-A	付属施設 - 道路標識設置工	人的な巡回監視	本技術は、電圧測定装置と無線端末、GPS装置が一体となった太陽光と蓄電池を使った仮設信号機、誘導装置などの蓄電池電圧監視装置のシステムであり、従来技術は人的な巡回監視をしていた。本技術の活用により、省人化、経済性の向上、安全性の向上が図れる。		株式会社キッズウェイ 技術部 (〒461-8725 愛知県名古屋市東区東桜1丁目13番3号 NHK名古屋放送センタービル11階)	—	第3回事後評価 令和7年度 活用効果調査件数 5件